

つながる
ひろがる
いすみの輪

起業でつながる



奎珈琲 MOKU COFFEE

店長 木村 洋平さん

東京都葛飾区
⇒いすみ市に移住



Instagram

東京の銀座にある喫茶店で10年間勤め、「子供を自然豊かな場所でのびのびと育てたい」という思いから、2015年10月にいすみ市に移住。
2018年11月28日に「奎珈琲 MOKU COFFEE」をオープン。いすみ市内、市外からお客様が来店する、人気コーヒー店です。



Q1：これまでの経歴を教えてください

東京都葛飾区出身で、ずっと東京で暮らしていました。結婚し、子供が生まれるのをきっかけに「これから子供をどこで育てていくか」という話になったのですが…妻も僕も田舎で自然が多い場所で子育てをしたいと考えていたんです。
そんな時いすみ市に住んでいた親戚が亡くなり、「誰も住む人がいな

いから、田舎移住を考えているなら住んでみないか」と声がかかり、思い切って移住しました。
その後2018年11月28日に「奎珈琲 MOKU COFFEE」をオープンし、コーヒー屋のオーナーになりました。

Q2：いすみ市に移住して良かったことを教えてください

子供と過ごす時間を取りやすくなったのが、何より嬉しいですね！東京に住んでいた頃は子供と過ごす時間をしっかり取れず、毎日時間に追われていましたが、移住して開業してからは、断然自分のペースで働きやすくなりました。自然が多く空気も新鮮、保育所も近くにあり、子育て環境も大満足です。
また、お仕事の面では「**ご縁**」に恵まれることがとても多いです。今までに商店街やイベントで出店したり、大原漁港で毎週日曜日に開催

されている「港の朝市」で出店したり…。「うちで出店してみないか？」と、たくさんの方から声を掛けていただきました。
もし都会で飲食店を営んでいたら、きっとこんなに周りの方に助けてもらえることってないと思うんですね。どちらかというと「1人で淡々とがんばる」という感じなのかな、と。
こんなにも地域の方と密接につながり支え合えるのは、いすみの「**温かい田舎**」ならではの特権なんだと感じています！

Q3：今後の展望を教えてください

店舗の2階を改装したいですね。ワークショップをしたいと思っている方に、気軽に使っていただけるようなスペースにしたいです。
僕がいすみ市に「**挑戦**」することへの背中を押してもらったので、僕も誰かの挑戦したい気持ちを後押し出来たら…と思っています。

Q4：これからいすみ市に移住してくる方へのメッセージをお願いします

いすみは「いろんなことにチャレンジができる町」です。
週末にはたくさんイベントが開催されていますし、年齢関係なく挑戦したいと思った時に飛び込める場がたくさんありますよ！

木村さんのある1日（夏）

- 8：30 店内の掃除
- 9：00 近くのスーパーで買い出し
- 10：00 開店
- 17：00 閉店
- 17：30 自分の時間
(店内の装飾をしたり)
- 19：00 帰宅

つながる
ひろがる
いすみの輪

地元でつながる



高秀牧場「ミルク工房」

店長 馬上 温香さん

いすみ市
⇒カナダ
⇒いすみ市で起業



HP

「牛の尊さや酪農家のことを知ってほしい」という想いで、2016年に高秀牧場「ミルク工房」をオープン。高秀牧場で大切に育てられた牛の、搾りたての牛乳を使ったジェラートは、地元産の野菜や果物とコラボレーションもしています。



Q1：これまでの経歴を教えてください

「一度は海外に出て視野を広げてきてほしい」という両親の方針もあり、高校卒業後、カナダのトロントに留学していました。
カナダに永住するつもりで、大学卒業後は現地でスーパーバイザーやガイドの仕事をしたりしていましたが、23歳の時に父がチーズ工房を建てたことをきっかけに日本に戻ってきました。

「自分が本当にしたい事はなんだろう」そんなモヤモヤした気持ちを漠然と抱えながら、いすみ市に戻ってきてからは、地元小学校で学習サポーターの仕事などをしていました。その時に酪農教育ファームに参加し、「牛の尊さや酪農家の仕事を伝えていくのが私の使命なんだ」と気づき、今の仕事を始めました。

Q2：いすみ市に移住して良かったことを教えてください

知らなかったふるさとの魅力に気づけたことが一番良かったことです。昔は「こんな田舎早く出たい」とずっと思っていて、留学したカナダは都会で本当に楽しかった。けれど、いすみ市に一時帰国すると、やっぱり**ホッと**する場所と感じることは、ずっと変わらなかったです。
戻ってきていすみ市でお店を始めて、市の事業や色々なイベントに関わっていくうちに「いすみ市ってすごいんだ！」と思うようになりました。1時間に1本しか走っていない、いすみ鉄道も昔は不便だと感じていましたが、今は視点を「観光」に変えたら、素晴らしいものだと思う

ようになったんです。
牛の魅力に気づけたのもいすみ市に戻ってきてからです。昔は牛がいるのが当たり前環境でしたが、今は牛が大好きになり「もっと知りたい」「魅力を伝えたい」と強く思っています。
牛は牛乳やお肉になるだけでなく、牛糞が堆肥となって使われたりと、**自然の循環も促してくれる**、とても尊い存在です。もっと子どもたちに牛の魅力を伝えていきたいです。

馬上さんのある1日

- 9：00 出勤
- 10：00 ミルク工房オープン
- 17：00 閉店業務、その後納品など
- *たまに出張*
- 小学校での授業（食育・キャリア教育）
- 個人で呼ばれるもの（バターづくりや講演など）

Q3：今後の展望を教えてください

農泊（ファームステイ）に興味があるのでチャレンジしたいです。

Q4：これからいすみ市に移住してくる方へのメッセージをお願いします

「いすみ市に来たら、絶対にいすみ市のこと